

## 【第4節】地域の皆さんへ

### 4-1 協力隊は“地域の未来の仲間”です



「ほな今日は、岩出市に新しく来た“地域おこし協力隊”について話そうかの。」

地域の方「協力隊って、ボランティアの若い人が来るん？」



地域の方「行政の仕事を手伝ってくれる子らなん？」



「その質問、全国どこでも必ず出るんよ。  
協力隊は“働き手の補充”でも“便利屋”でもない。  
言うならば――  
“地域の未来づくりの仲間”なんですわ。」

地域の方「仲間...？」



「はい。私たちは“地域の課題や魅力”を一緒に探して、  
みなさんと一緒に未来をつくるために来ました。」

## 【第4節】地域の皆さんへ



「外から来たからこそ見えるもんもあるんや。  
“ここ不便やなあ”とか“ここは宝物やん！”とか。  
わしら地元民は気づかんことも、若い子はよう見つけよる。」

「せやで～  
僕も外から来た唐揚げ屋は全部見つけるもんね。  
“未来の胃袋づくりの仲間”や！」



「課長だけ違う視点。」

「協力隊は3年という時間を使って、  
地域に入り、つながり、未来につなぐ役割を担ってる。  
だから“町内会の手伝い要員”とは全然ちゃうんよ。」



地域の方「なるほど...。  
“助けてくれる若者”じゃなくて“未来づくりのパートナー”というわけやな。」

「はい、仲間としてよろしくお願いします！」



## 【第4節】地域の皆さんへ

### 4-2 地域のみなさんをお願いしたいこと



地域の方

「協力隊さんをお願いしたいこと、多すぎて逆に何頼めるんか分からんわ。」

「実は、地域の方をお願いしたいことは3つだけなんですよ。」

- ① “地域のことを気軽に教えてあげてください”
- ② “お願いは、できれば“目的つき”で”
- ③ “距離は“友達より少し遠め”くらいでOK”



「まず① “地域のことを気軽に教えてあげてください”やけども協力隊は外から来てる分、最初は“地域の普通”も分からん。例えば、  
“お祭りの段取り”  
“地域の暗黙のルール”  
“昔ながらの人間関係”  
こういうのを教えてくれるだけで、隊員は活動しやすくなる。」

地域の方「それならワシらの方が詳しいし、なんぼでも教えたるで。」



## 【第4節】地域の皆さんへ



「次に②“お願いは、できれば“目的つき”で”ですが、“この作業として～”ではなくて、“このイベントを地域で続けたいから、協力してほしい”のように、“なぜ”が分かると動きやすいんです。」

「目的を伝えずに頼むと、“雑用頼まれたん？”って誤解されるからな。」



「最後に③“距離は“友達より少し遠め”くらいでOK”です。協力隊は住民でもあり、行政職員でもあり、でもどちらでもない立場。だから“近すぎても遠すぎてもダメ”なんですよ。」

地域の方「近すぎるとどうなるん？」



「簡単に言うたら、“期待が重くなる・頼りすぎになる・気疲れする”このあたりやな。」

「人間、近すぎると胃もたれするんよ。唐揚げも距離感が大事！ 毎日は食べたらあかん♡」



「課長の距離感の例えは油っこいです。」

## 【第4節】地域の皆さんへ

### 4-3 協力隊と地域の“ちょうどいい距離感”とは？



「では、協力隊と地域の“ちょうどいい距離”を一緒に考えてみましょう。」

地域の方「“家族のような存在”は近すぎ？」



「近すぎやな。  
家族のように頼りすぎると、隊員は3年で疲れてしまう。」

地域の方「ほな逆に“ほっといていい”？」



「ほっとかれると寂しいです...。  
地域の活動に参加する機会も減ってしまうし...。」

「つまりこういうことやな。  
ちょうどいい距離のポイントとしては、  
① 相談は“事前に・目的を伝えて”  
② 一緒に活動する日は“メリハリ”をつける  
③ 時には“地域の仲間”として誘う(でも強制はしない)」



## 【第4節】地域の皆さんへ



地域の方「なるほどなあ...。  
“仲良くするけど干渉はしすぎない”、そんな感じか。」

「“友達より少しだけ遠い、でも気にかけてくれる”  
くらいが一番いいということですね。」



「行政の言い方で言うと、  
“地域住民 - 協力隊 - 行政の三角形で支える仕組み”や。  
誰か一人が抱え込むと破綻する。  
地域全体で“ゆるく・長く”つながるのが理想や。」

「三角形...？  
僕は丸いけどね。  
角がない優しいタイプ♡」



「課長だけ図形の例えが合っていない。」

## 【第4節】地域の皆さんへ



地域と協力隊がうまくいくには、まとめると、

- ① 協力隊は“未来の仲間”  
— 労働力ではなく“未来と一緒に作る人”
- ② 地域が教えることが“未来づくりの第一歩”  
— 行事・歴史・しきたり・人間関係など
- ③ 距離感は“友達より少し遠め”  
— 干渉しすぎず、放置しすぎず ですね。

「みんなで協力隊を迎えて、岩出の未来を面白くしていこうや。」



「地域の皆さんと一緒に活動できること、ほんますごく楽しみです！」

「未来は明るいで～  
唐揚げは揚がるで～  
岩出も上がるで～  
.....ぬふふ♡」



「最後の韻だけは良かった。」